

軽スポーツの祭典に楽しく汗流して



軽スポーツフェスティバルが十一月二十七日に開かれました。五つの会場で六種目を実施。市民体育館でソフトバレーボールとともに行われたソフトドッジボールでは、小3から小6まで十四チームが大きな声援の中、熱戦を繰り広げ、楽しく汗を流していました。

ま え ば し シテイ フラッシュ



「始めは縦書きで書いたのですが、募集要項をよく見たら横書きという規定だったので推こ

「心の中の最高の先生」エッセーコンテストで、このほど優秀賞に選ばれた。
「三年前、中学校担任の先生のことを書きました。家庭内のことで悩み、一番辛かったときのことです。普段は無口でぶっきらぼうな男の先生が、わたしの頭に触れてくれた手の温もりを題材にしました。自分では書き出しがうまくできなかなと思っていました。入賞を知ったときにはびっくりしましたね」
作品は二十四百字ほどで、夏休み中に下書きしたものを九月に入ってから清書して応募した。

「大学へ進学して看護学を学びたいと考えています。母親のアドバイスマあり、将来は医療関係の職場で働き、人の役に立っている仕事ができる方がいいなと思っています」と、明るい顔で語ってくれた。

「高校三年間で二百冊以上借りると、卒業時に多読賞がもらえます。好きな作家は小説家の村上由佳さんや児童文学者の青木和雄さん。評論は難しくてもあまり好きではありませんね」
来年三月の卒業を控えて、進路を決める時期になっている。
「大学へ進学して看護学を学びたいと考えています。母親のアドバイスマあり、将来は医療関係の職場で働き、人の役に立っている仕事ができる方がいいなと思っています」と、明るい顔で語ってくれた。



エッセーコンテストで優秀賞
大平 智恵さん(18)
荒口町

書き出しが良かったかな

親子でロボット作りを



12月3日・4日の2日間、児童文化センターで「親子でチャレンジロボットスクール」が行われました。組み立てブロックを使ったコンピューター制御のロボット作り親子20組が挑戦。パソコンも使い、動きのプログラムを工夫しました。最後は障害物のあるコースで早さを競い合い、大はしゃぎする姿も。

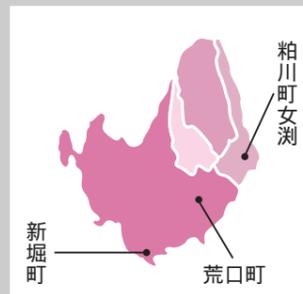
2カ所で廃タイヤ回収

使用済みのタイヤ、バッテリー、タイヤチェーンの回収が、十一月二十七日に行われました。今回は六供清掃工場に加えて荻窪清掃工場でも実施。廃タイヤ一万四百本などが回収され、リサイクルを行う業者へ渡されました。



ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。



協力し合い 町をきれいに

下川淵地区

新堀町自治会では十二月四日、堀払いを行いました。毎年、四月と十二月の第一日曜日に実施。全世帯が参加し、町内の側溝などをきれいに行っています。

午前八時、参加者は同町公民館へ集合。区域ごとに別れ、側溝などの落ち葉やゴミを拾い集めます。協力し合い、作業は一時間ほどで終了しました。

まちのニュース

声援浴びて 好プレー続出

粕川地区



十一月二十七日、粕川町女洲の粕川小体育館を主会場に、第三十五回粕川地区バレーボール大会が行われました。
この大会は、地区住民の健康と親睦を図ることが目的。自治会ごとに男女十五チーム、百五十人が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。
大きな声援を受けて、エネルギーが沸騰したプレーが続出。選手・観客が一体となって大会を盛り上げました。
力を尽くした試合結果は、男女それぞれ女洲地区、込皆戸地区が優勝しました。

火災予防で 安全な生活

火災の多くは人為的なものや不注意などが原因です。特に、家庭で火を扱うことが多い女性の皆さんが、率先して「火の用心」に努めていただくことは大変重要なことです。女性の立場や視点から日ごろの防火活動にご活躍いただいている女性防火クラブの皆さんには深く感謝いたします。
また、子どもたちから火の怖さ、防火の大切さを学ぶことは、とても大切なことだと思っています。
お集まりの皆さんには、広く火災予防を呼び掛けていただき、三十二万市民が安全で、安心して生活できるまちづくりに一層の力添えをお願いします。(第十六回女性と子どもの防火のつどい、十一月二十二日)

